

安心な街づくり（歓楽街対策）タスクフォースの設置について（案）

内閣官房 新型インフルエンザ等対策有識者会議
「大都市の歓楽街における感染拡大防止対策WG」報告書
(10月27日)

○ 今後の対策のあり方

(1) 対策を通じた基本的な考え方

- 大都市の歓楽街が感染のいわば「急所」
- こうしたエリアへの対策強化が今後の感染拡大の防止に有効

(2) 通常時から取り組む対策

- ① 信頼関係の構築と情報共有
 - ② 感染が拡大しにくい環境づく
 - ③ 通常時からの保健所支援体制の整備
 - ④ 感染拡大の予兆の早期検知
- 各自治体ごとの「安心な街づくりタスクフォース」設置
 - 現場との丁寧な対話等の積み重ね、ガイドラインの遵守徹底
 - リスコミ専門家の助言を踏まえた風評被害対策、情報提供
 - 日常的な相談・検査拠点の設置・運営、広報・周知 など

(3) 早期介入時に行う対策

- ① 感染拡大が早期に検知された際の速やかな対策
 - ② メリハリの効いた効果的な感染防止対策
 - ③ 感染拡大期における保健所支援のあり方
- エリアや業種単位での重点的（地域集中的）なPCR検査実施
 - 多様なチャネルを活用した積極的な受診勧奨の実施
 - 病床や宿泊療養施設等の確保、保健所業務への支援
 - 特措法第24条第9項等に基づく時短要請 など

○ WGの今後の役割

- 各自治体の取組状況等のフォローアップや助言・支援を実施

都において
「安心な街づくりタスクフォース」を設置
(12月初旬予定)

1 設置の趣旨

国WGで掲げられた内容を踏まえ、歓楽街での感染拡大を防止する取り組み等について検討

2 メンバー

- 設置当初は、国WG座長である今村医師（駒込病院）を中心とした、コアメンバーで立ち上げ
- 段階的に、区や保健所、事業者等の関係者にも参画いただくことを検討

3 当面の検討テーマ

歓楽街関係事業者とのヒアリング実施

4 スケジュール

12月初旬 設置予定